

第1回 第3期瀬谷区地域福祉保健計計画策定懇談会記録

- 1 日時 平成26年9月25日(木) 14時から17時まで
- 2 場所 区役所5階大会議室AB
- 3 出席者 出席24名、欠席1名
- 4 議事要旨

| | |
|-----------|--|
| 内容 | <p>(1) 第3期 瀬谷区地域福祉保健計画について 次の項目について事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none">・メンバー紹介・「懇談会」の位置付について・「横浜市地域福祉保健計画」について・「瀬谷区地域福祉保健計画」の概要について・「事務局体制」について・「第2期瀬谷区地域福祉保健計画の振り返り」について <p>(2) 全域計画について 次の項目について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none">・全域計画に盛り込む内容について・全域計画の方向性について <p>以下主な意見</p> <ol style="list-style-type: none">①支援を必要とする人が「支援をしてほしい」と言える地域づくりが重要②福祉を推進していくためには「健康」であることが前提である。③「顔の見える関係づくりから始める地域の見守り～防災事業」と「地区支援チーム」による支援の二つは特に地域福祉保健計画推進のうえで重要④お子さんを連れのお母さんや障害児者が、防災訓練に参加しやすい仕組みを地域全体でもう少し考えたい。⑤「福祉は地区社協」という考え方ではなく、地域全体で取り組んで行きたい。⑥南瀬谷に整備されたような拠点の整備を進めていく必要がある。⑦現役の働き世代に地域福祉保健計画を広めていく必要がある。⑧学校と地域、企業と地域の関わりを強める必要がある。⑨若いお母さん方と地域の結びつきが弱まっている。⑩障害児者に対する理解を促進する必要がある。⑪「地域づくり」という観点から「まちづくり」という視点も必要である。 |
|-----------|--|

(3) 地区別計画策定指針について

次の項目について意見交換

- ・地区別計画策定指針の策定に至る経緯について
- ・地区別計画策定指針の考え方について
- ・地区別計画策定指針に盛り込む項目

- ①障害に対する理解や障害児・者への地域支援という観点が必要である。
- ②地域福祉保健計画の推進には「地域づくり」、「まちづくり」と言う視点で進めることが大切である。
- ③若い人の出番をつくる必要がある。
- ④スポーツによる支援も健康づくりには必要である。
- ⑤食育の重要性についても盛り込む必要がある。
- ⑥地域福祉保健計画に親しみを持ってもらうための愛称を検討してはどうかと思う。
- ⑦人材発掘・育成に具体的に取り組むべき時期である。
- ⑧ボランティアに高齢の方が多く、これからどうやって募っていくかが課題である。
- ⑨若い世代がボランティアに携わるのは難しい。若い世代の意見を聞く場を設けておき、将来地域に戻る道筋をつけておくことが大事ではないか。
- ⑩頑張っている人を褒める機会が地域では少ない。
- ⑩地域コミュニティを利用して策定していかないといけない。

2 その他

事務局

地域福祉保健計画の愛称については、次回検討していただく。

本日の意見を全域計画・地区別計画にまとめて整理して提示していきたい。

次回

平成26年11月6日 (木) 14時～16時

場所：二ツ橋地域ケアプラザ 多目的室